

2019年7月1日

保険薬局 各位

東京蒲田病院

薬剤科長 尾藤大介

トレーシングレポート（服薬情報提供書）の運用について

平素より、院外処方箋を応需いただき、ありがとうございます。

さて、保険薬局におかれましては、日頃より疑義のある処方について、処方医師に対し疑義照会を行っていることと思います。

しかし、患者から聞き取った服薬アドヒアランス状況や軽微な副作用に関する報告、健康食品などの使用に関する情報など、即時性の低い情報の中には、診療における重要な内容が含まれる場合もありながら、処方医師へフィードバックすることが困難な状況でした。

そこで東京蒲田病院薬剤科では、トレーシングレポートを導入することと致しました。

今後、即時性は低いものの「処方医師への提供が望ましい」と判断された内容については、FAXにてトレーシングレポートを薬剤科まで送信して頂きたいと思えます。送信された情報は薬剤科にて集約したのち、医師へ情報伝達を行い、その共有化を図りたいと思えます。保険薬局との連携を推進することで、適正で安全な薬物療法推進につながるものと考えます。そして、このように地域の保険薬局と密に連携をとり、よりよい治療の提供を目指していきたいと思えます。

ご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。